

■医療安全管理室

1. 2021年度の目標及び方針

医療安全管理室の役割は、患者さん及び利用者の方々に安全安心な医療環境を整えることと、質の高い医療を実践・推進していくために職員を支援することです。

1) 概要

医療の対象は患者さんであることを忘れず、つねに組織の質と安全文化を醸成し続ける必要があります。IPSG（国際患者安全目標）の規程に基づき、運用のモニタリング、アウトカムを臨床にフィードバックするサイクルを展開していきます。また、同法人内の安全管理者（医療・医薬品・医療機器等）と交流を深め、組織の知識を広め、安全文化の醸成を図っていきます。2019年度より始まった医療安全対策地域連携は、他の医療機関と相互に訪問し評価を行い合う仕組みで、これは、私たちの医療の質を高める手がかりになります。

2) 2021年度の推進計画

① 財務の視点

- ・ 医療安全対策加算1の算定要件に則り、院内の安全管理体制整備を維持する。
- ・ 医療安全対策地域連携加算1の算定要件に則り、新たに多角的な評価を受ける。

② 顧客の視点

- ・ 入院・外来ともに転倒・転落の低減活動（アセスメント・ケア介入・実践記録）を行う。
- ・ 入院・外来ともに正確な患者識別の実施を目標とする。

③ 内部プロセスの視点

- ・ IPSG：患者識別、引き継ぎ時のコミュニケーション、ハイアラート薬、正しい患者・部位・手技の実施、転倒・転落にまつわる改善活動と有害事象の結果をモニタリングしフィードバックする。
- ・ チーム医療を効果的に展開するために、ACLS委員会、転倒・転落予防チーム、窒息予防チーム、身体拘束対策委員会の活動を充実させる。
- ・ 職員研修において年2回参加率は病院・クリニック併せて78%であった。今年度はこれを上回る80%を目指す。

④ 学習と成長の視点

- ・ kameda医療安全情報やオフィス365掲示板を用いた職員へのフィードバックを積極的に行う。

2. 2020年度評価

- 1) 4医療機関におけるインシデント報告総数は副報告を含め6,805件であった。改善事例は医療安全管理委員会のページに掲載した。図1は医療機関別報告数で、図2に予定外の治療処置が生じた（影響レベル3以上）内容別の件数を示した。3月より転倒後の消毒は影響レベル3aに分けている。

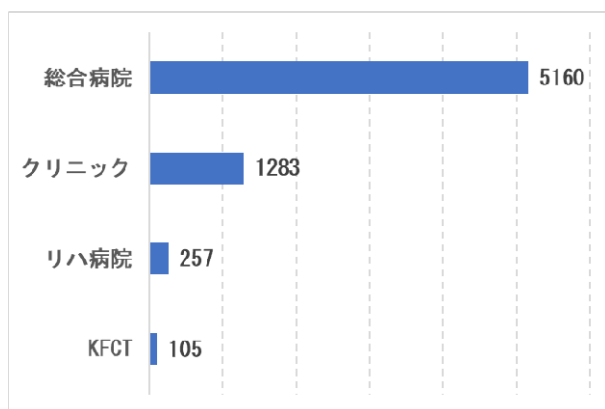


図1 医療機関別報告（副報告含 N=6,805）

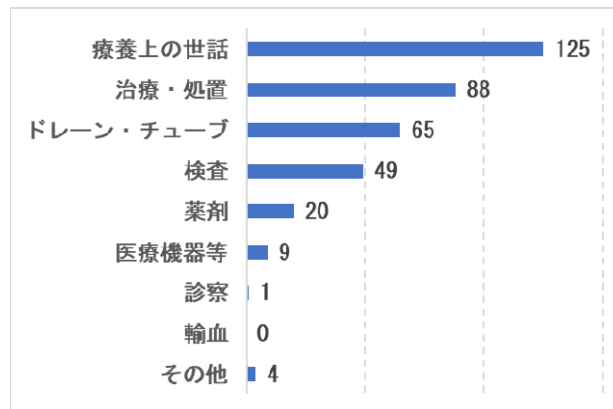


図2 予定外の治療処置が生じた内容（副報告除 n=361）

2) 医療安全に関する各種委員会活動の運営

- ・ 医療安全管理委員会は 12 回実施した。詳細は医療安全管理委員会のページを参照。
- ・ ACLS 委員会は 6 回実施した。詳細は医療安全管理委員会のページを参照。
- ・ 転倒・転落予防チーム会議は 10 回開催した。メンバー主導で課題を持ち寄り討議した。詳細は医療安全管理委員会のページを参照。

3) 職員への安全教育の企画運営

- ・ 医療安全職員研修参加 2 回達成は総合病院・クリニック 78%、リハビリ病院 88%であった。
- ・ 医療安全職員研修会開催実績を表 1 に示す。

表 1 安全管理職員研修会開催実績

	演題名	講師・発表者	参加人数
第1回	医薬品副作用被害救済制度	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	2,649名
第2回	医療安全活動報告会 部署の安全活動の取り組み	【施設における環境の標準化を目指して】 品質管理本部 品質管理部 品質管理課 富田 美萌 【診療放射線の安全利用のための指針について】 亀田総合病院 医療技術部 画像診断室 友邊 和哉 【当院の看護師特定行為研修の取り組み～看護に深みと高度な技術を添える～】 亀田総合病院 卒後研修センター 飯塚 裕美 【リハビリ中に発生した転倒とリハビリスタッフの認識に関する調査】 亀田総合病院 リハビリテーション室 太田 幸将 【院内急変 —蘇生記録からみえること—】 亀田総合病院 診療部 救急救命科 不動寺 純明	2,490名
第40回～42回	リスクマネジメント研修会	院内講師8名	87名

4) 毎月の診療部長会にインシデント集計およびトピックス情報を報告した。

5) 院外の安全情報の収集と院内通信

- ・ 医療事故情報収集事業の情報を 12 回配信した。
- ・ kameda 医療安全情報は 160 号～166 号を発行した。

6) 日本医療機能評価機構 ヒヤリハット事例収集事業へ 3 ヶ月毎の件数を報告した。

7) 医療安全対策地域連携

- ・ 加算 1 連携：NTT 東日本関東病院 6 名、亀田総合病院 9 名：相互リモート（2021 年 2 月 24 日）
- ・ 加算 2 連携：亀田森の里病院 7 名、亀田総合病院 7 名：リモート（2021 年 3 月 10 日）

- ・ 加算 2 連携：亀田クリニック 5 名、亀田総合病院 6 名：訪問（2021 年 1 月 27 日）
- ・ 加算 2 連携：塩田記念病院 4 名、亀田総合病院 7 名：書類会議（2021 年 3 月 3 日）

3. 医療安全管理室のスタッフと活動内容

管理室の構成は室長及び専従セーフティマネジャー、事務員が所属している。毎日カンファレンスを実施、毎週のカンファレンスに医療機器安全管理者、医薬品安全管理者が参加している。

- ① インシデント収集と解析および分析・対策の立案
- ② 重大なインシデント発生後の調査と対応
- ③ 安全管理規程、マニュアル等の作成・Web 更新
- ④ 医療安全に関する各種委員会、部会活動の運営
- ⑤ 職員への安全教育の企画運営
- ⑥ 安全に関わる部門間の連絡調整
- ⑦ 安全巡回による安全活動の啓蒙と評価
- ⑧ 院外の安全情報の収集と院内発信
- ⑨ 日本医療機能評価機構 ヒヤリハット事例収集事業 Web 報告（3 か月毎）
- ⑩ 医療安全対策地域連携のための訪問評価（加算 1 の施設、加算 2 の施設）

4. 学術関係

1) 学会・研究会発表

氏名	演題名	発表学会名	開催月日
高橋静子	転倒・転落後の外傷スクリーニングの検証	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	2020年10月6日・7日
高橋静子	教育セミナー「(医療安全)組織としての分析の考え方」- 検討会運営法の課題 -	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	2020年10月6日・7日

2) 院外講演・講義活動

氏名	テーマ	日程	主催元
高橋静子	亀田医療大学看護学科 安全管理	2020年度	亀田医療大学
高橋静子	亀田医療技術専門学校 安全管理	2020年度	亀田医療技術専門学校
高橋静子	医療安全管理者養成研修会講師	2021年2月19日	千葉県看護協会 (千葉)
高橋静子	千葉県立保健医療大学看護学科 リスクマネジメント論	2020年12月14日、2021年1月27日	千葉県立保健医療大学
高橋静子	秋田県看護協会新人研修	2021年10月9日	秋田県看護協会
高橋静子	君津中央病院職員研修RCA	2021年1月18日	君津中央病院

3) 院内講演・講義活動

氏名	テーマ	日程	主催元
鈴木真 高橋静子 金高智子 横山亜希子	リスクマネジメント研修会	2020年度	医療安全管理室
高橋静子 金高智子	看護部新人フォロー研修	2020年度	看護部
高橋静子	採用者オリエンテーション「医療安全について」	オンデマンド	継続学習センター

4) 執筆

氏名	テーマ	投稿日	掲載誌
高橋静子	リスクマネジメント研修 (39-47)	2020年9月	医療安全研修 テーマ・実践集 (メディカ出版)
高橋静子	転倒・転落予防と医療の質・患者安全の確保	労働の科学、Vol. 75, No3	大原記念労働科学研究所

文責：高橋静子、鈴木信哉